

**北海道教育大学附属函館中学校 副校長 黒田 論**

「歴史と伝統を重んじながら」

本校は1947年（昭和22年）に、北海道第二師範学校附属中学校として開校し、今年で76年目を迎えております。この間、多くの生徒が本校で学び、そして卒業していきました。その足跡は、例えば、これまでに出版された「附中だより」や生徒会誌「桐の花」などからも垣間見ることができます。今年度の全校生徒の諸活動もそれらに記録され、そして記憶され、本校の歴史の一部になっていきます。今回の「附中だより」の中にも皆さんの様々な活躍が確かに記録されています。

さて、本校の制服についてですが、現在、新しい制服の導入に向けた準備を進めております。これまでの学生服とセーラー服も、長きにわたり受け継がれてきたものであり、生徒たちの心に記憶として刻まれてきたものです。これらの伝統を尊重しつつ、時代とともに変わる制服へのニーズに合わせて、新しいデザインへの切り替えを考えております。具体的には、新制服はブレザー型とし、そのデザインには伝統と現代性が融合されたものを盛り込みたいと考えております。制服に付けるエンブレムのデザインについては、生徒からのアイデアを取り入れつつ検討を進めているところです。準備が順調に進めば、来年度の新入生から導入が可能になります。また、ジャージについても、現在のタイプの生産がまもなく終了するというところで、来年度から新しいタイプのものに切り替える準備を進めております。詳細については、今後適宜お伝えして参ります。

最後に、本校が多くの卒業生の皆様とともにあることが分かるエピソードをひとつご紹介します。それは今年度に入って間もなくのこと。本校に「『集会の歌』の音源はないでしょうか」という問合せがありました。「集会の歌」というのは現在の校歌がなかったときに当時の生徒が歌っていたものです。久しぶりに集まる同窓の方々と歌いたいとのことでした。早速、音楽科の高神典子先生にお願いして音源を再現し、ご依頼主の卒業生に届けました。その後、大変丁寧なお礼状が届いたところです。本校の歴史と伝統は人の思いによって引き継がれていることを改めて感じることができました。

本校はこれからも歴史と伝統を重んじながら、新しい時代に合わせて前に進んで参ります。関係の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。